

④ 呉羽

図 II-53 学級数・児童生徒数

小学校名 (6校)	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
呉羽	3	89	3	86	3	94	3	100	3	103	3	98	18	570
長岡	1	23	1	28	1	25	1	29	1	27	1	26	6	158
寒江	1	13	1	15	1	14	1	10	1	13	1	25	6	90
老田	1	28	1	23	1	24	1	25	1	25	1	22	6	147
古沢	1	6	1	9	1	6	1	7	1	8	1	5	4	41
池多	1	9	1	8	1	10	1	6	1	4	1	4	5	41

※学級数は通常級のみ。児童数は人数であり、特支級の人数を含む。

※古沢小は3・4年生及び5・6年生、池多小は5・6年生で複式学級を編制。

中学校名 (1校)	1年生		2年生		3年生		合計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
呉羽	5	194	5	182	5	188	15	564

※学級数は通常級のみ。生徒数は人数であり、特支級の人数を含む。

各学校の規模	
	: 大規模校
	: 適正規模校
	: 小規模校

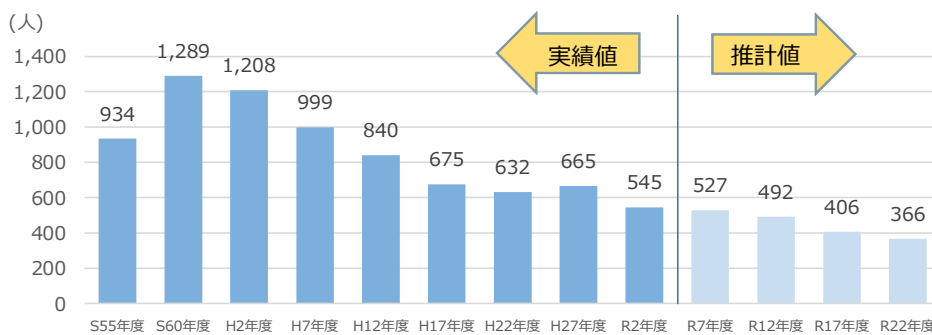
出典：「富山市の教育」（富山市教育委員会、令和3年9月）

図 II-54 小学校児童数推移



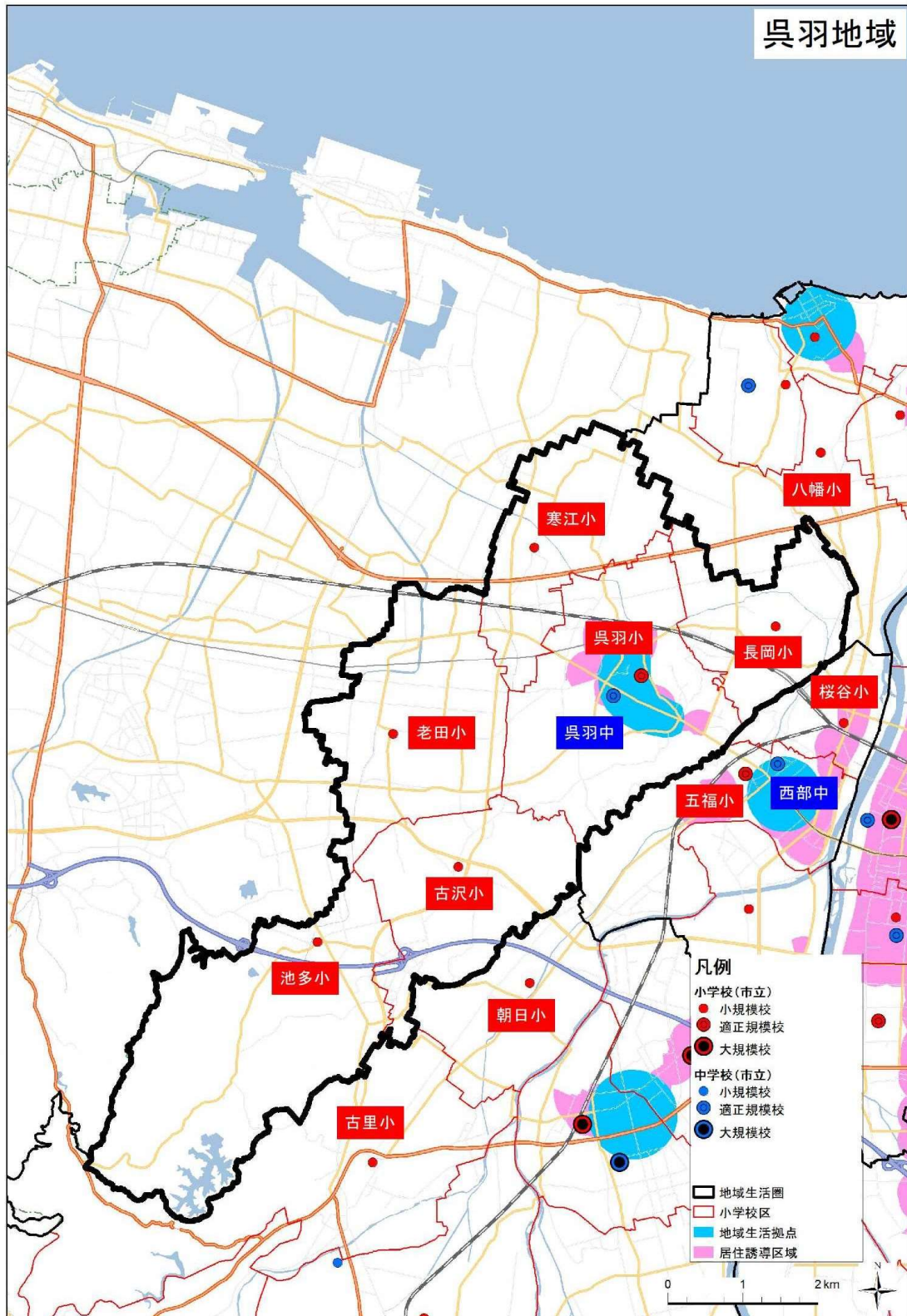
出典：昭和55年度～平成12年度：各学校沿革史（富山市）、平成17年度～令和2年度：「富山市の教育」（富山市教育委員会、平成17年9月～令和2年9月）、令和7年度～令和22年度：令和2年3月31日住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

図 II-55 中学校生徒数推移



出典：昭和55年度～平成12年度：各学校沿革史（富山市）、平成17年度～令和2年度：「富山市の教育」（富山市教育委員会、平成17年9月～令和2年9月）、令和7年度～令和22年度：令和2年3月31日住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

图 II-56 学校位置图



※学校規模は令和3年5月1日時点

再編する学校の姿

再編する学校の姿

再編の組み合わせ

再編対象校

- | | |
|---|--|
| ●長岡小学校〔呉羽中〕
児童生徒数：158人
学級数：6学級(小規模校(全学年が単学級)) | ●古沢小学校〔呉羽中〕
児童生徒数：41人
学級数：4学級(小規模校(複式学級を含む)) |
| ●寒江小学校〔呉羽中〕
児童生徒数：90人
学級数：6学級(小規模校(全学年が単学級)) | ●池多小学校〔呉羽中〕
児童生徒数：41人
学級数：5学級(小規模校(複式学級を含む)) |
| ●老田小学校〔呉羽中〕
児童生徒数：147人
学級数：6学級(小規模校(全学年が単学級)) | |



再編対象校と組み合わせる学校

- 呉羽小学校〔呉羽中〕
児童生徒数：570人
学級数：18学級(適正規模校)

再編先学校

現 呉羽小学校〔呉羽中〕

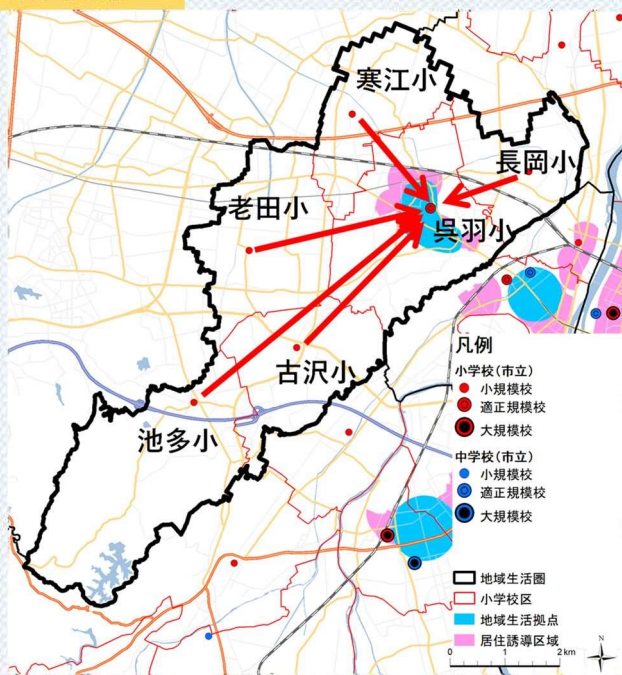
※〔 〕内は進学先中学校

※()内は学校規模

※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4（1）、（3）及び（4）に基づく

※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）

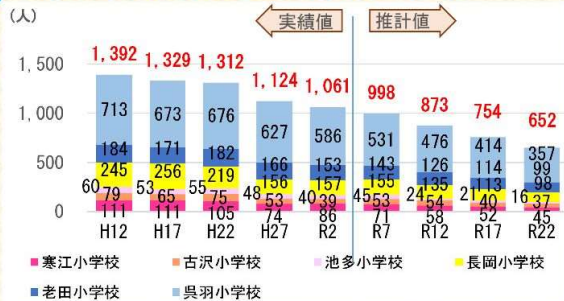
該当する地域生活圏及び小学校区



※学校規模はR3.5.1時点

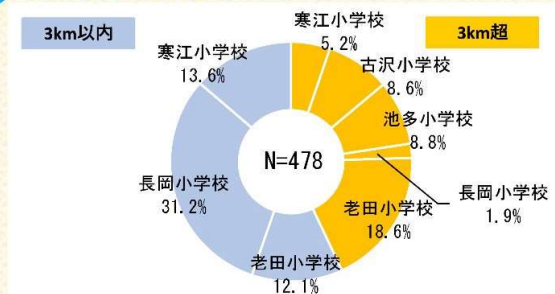
検討の観点

再編後の児童生徒数の推移



※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数
 ※赤字は児童生徒数の合計
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数
 ※令和7年以降はコーホート変化率法に基づく推計児童生徒数

再編後の通学距離



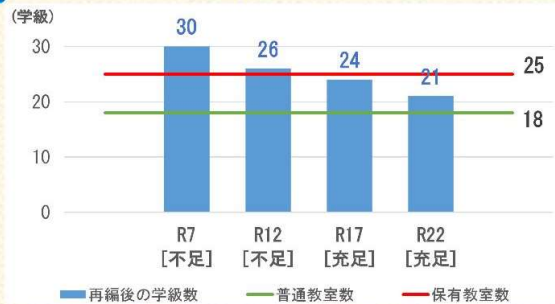
※再編を検討する学校（再編先学校を除く）に現在通学している児童生徒について住民基本台帳（令和3年8月時点）に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

再編後の学校規模（学級数）



適正規模：学級数が12学級以上18学級以下
 大規模：学級数が19学級以上
 小規模：学級数が11学級以下
 ※コーホート変化率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を下回っている。
 不足：再編後の学級数が保有教室数（必要教室数）を上回っている。
 ※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数
 ※コーホート変化率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎 (建築年数39年)	-	C	B	B	B	B
体育館 (建築年数35年)	-	B	B	B	B	B

A：概ね良好
 B：部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）
 C：広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
 D：早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）
 ※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

再編先学校の周辺地域状況



再編先学校の指定避難所区分

第1次避難所
 （洪水時には1階以上に避難すべき緊急避難場所）

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7、12、17、22年のいずれの時点においても大規模校となる。
- 【必要教室数】令和7、12年は教室数は不足しているが、令和17、22年は教室数は充足している。
- 【施設健全度】一部老朽化が進んでいる。
- 【周辺状況】地域生活拠点及び居住誘導区域（立地適正化計画）内に位置する。